

庄司 洸さん（抄）

長谷川 修児

一審がおわると

小西反軍裁判支援委員会は解体した

裁判からあなたは去った

それから六年

一九八一年三月二十一日

新潟地方裁判所は人影もなく

小西反軍裁判は差し戻し審無罪判決でおわった

あなたから

飲み屋開店の案内がとどいたのはいつだったか

会うこともなく過ぎ去る日々

あなたが無罪の告をかかげた日から一九年

庄司 洸死す

庄司 洸よ

軍隊と戦争の問題は今

あなたのかつての盟友たちの

危険な火遊びに

燃える立像

何よりも大切なのは良心なのである。
何より重要なのは「自分は個人はどうするのか」ということなのである。
（小西誠）

四十九年の生涯をもう振り返らない

あなたは

おだやかに眠ったか

無念のうちに眠ったか

いまははるかなるあなたの青春

（一九九五年四月二十三日定稿）

（庄司 洸追悼文集「庄司 洸と生きた私たち―シンハをもう一杯」に
長谷川 修児さんが寄せられた詩の後半部分を掲載しました。作者
紹介は19ページにあります。）

